

下水道公社だより



しずくちゃん

- 清らかな 流れを未来へ 下水道 -



すいてきくん

2002年10月号

目次

- 『下水道まつり』を終えて
- 『平成14年度維持管理研修会』の開催について
- 『総合学習（環境）講演』について
- センターだより『あだたら清流センター』
- 『市町村支援（設計受託）』について

『下水道まつり』を終えて

さる9月7日（土）当公社県北浄化センター及び県中浄化センターにおいて開催された『下水道まつり』には、あいにくの雨にもかかわらず、多くの方々に訪れていただきました。開催に当たりましてご協力いただいた県、関係市町村及び関係団体の皆様に、紙面を借りて御礼申し上げます。

【県北浄化センター】

「未来へ残そう清らかな流れ！」をテーマに、一般の方々に下水道の大切さを学んでもらうためのイベントとして、開催されました。当日は、家族連れなど約5,000名の方々が訪れ、下水道クイズラリーやマスのつかみ取り、歌手のトーク&ライブ、わんわんふれあいコーナー、ドラえもんの下水道パネル展示、ポップコーンやジュースのサービスなど子供連れで楽しめる内容で、一日ゆっくりと「下水道」とふれあっていただきました。



県北浄化センター マスのつかみ取り

【県中浄化センター】

「環境と下水道」～水と笑顔が輝く未来へ～のテーマのもと開催し、家族連れなど約4,800名の方々が訪れました。

来場者の皆様には、施設見学、下水道関連機器、作品の展示等各種イベントを通じて、下水道の大切さを知っていただき、下水道に対する知識と普及及び啓蒙を図ることができました。

来場者が「楽しかったね、また来年来ようね！」と笑顔が輝く「下水道まつり」でした。



県中浄化センター まつり全景

『平成14年度維持管理研修会』の開催について

『下水道公社だより』7月号でお知らせしました平成14年度維持管理研修会の研修内容の詳細が下記のように決まりました。

1. 日時：平成14年10月24日(木)
～平成14年10月25日(金)

2. 研修会場：二本松市岳温泉「あづま館」

3. 日程

<1日目> 10月24日(木)

・開会 13時00分～

【研修内容】

『下水道処理施設システムと維持管理上のポイント』

日本下水道事業団 業務部援助課

戸田分室長 金子安行氏

『うつくしま未来博』における水の創造
(株)渡辺コンサルタンツ 社長 渡辺敬蔵氏
『パネルディスカッション』

a. 水洗化率向上に係る調査結果について
b. 下水道接続率(水洗化率)の向上について
<2日目> 10月25日(金)

・現地調査

「県中浄化センター汚泥溶融施設」

なお、9月中旬に、各市町村下水道担当課宛に開催通知を送付済みです。

『総合学習(環境)講演』について

小中学校では、本年4月から子供たちの「生きる力」を育むための教育として「総合的な学習の時間」が新設されましたが、福島市立信夫中学校では、地球温暖化、大気汚染、水質汚濁など環境に関する問題を3年生の総合学習のテーマとして取り上げ実施されています。

そのなかで、水質面から環境問題を考えるテーマでは下水道が取り上げられ、去る9月3日、同校において下水道の役割、しくみ、下水道処理システムなどについて、当公社職員が講演を行いました。また、水質汚濁の指標となるBOD、CODについての説明及び



水質試験の説明を聞く生徒達

実験方法、反応タンク内の微生物などについての説明、紹介も行いました。

9月19日には約50人の生徒が県北浄化センターを訪れ、最初沈殿池や反応タンクなどの下水処理施設の見学、顕微鏡による微生物の観察のほか、透視度計やCODのパックテストを用い水質浄化の過程を生徒たちが自ら確認できる試験も行いました。

これらの講演や施設見学により、生徒たちが下水道についての理解を深めるとともに、総合学習をとおして環境にやさしい生活を心がけてくれることを願っています。



講演に耳を傾ける生徒達



センターだより『あだたら清流センター』

あだたら清流センターは、二本松市と安達町の1市1町を対象とした流域下水道終末処理場で、安達太良山を西に望む二本松市に位置しています。面積は3.6haと他のセンターに比べ中規模ではありますが、敷地内の建物は城下町をイメージした外観が特徴で、一般開放されている親水公園もあるため、住民の方々に幅広く利用されています。最近では近所に棲み始めた野生のサギがやってきて、公園内の池に棲む鯉を長いくちばしで狙っている姿が見られます。このサギから鯉を守るには大変苦勞するところではありますが、野鳥が近くにいるということは周辺の環境がよい証拠だと、改めて水環境保全の大切さを考えさせられます。



あだたら清流センター

あだたら清流センターの概況としましては、平成10年10月から供用を開始し、今年で5年目を迎えました。下水管渠は延長約5.3kmとなっており、下水流入量も順調に増加しています。9月時点の状況は、接続件数2,049件、水量で1日約1,800m³の汚水を処理しています。去る7月10日に日本各地で被害をもたらした台風6号の影響により、県内でも多くの被害を受けました。あだたら清流センターの放流先である六角川も平成10年8月の災害以上の水位を観測しま



霞ヶ城公園箕輪門

したが、幸いにも流入量が増大した他は施設及び水処理には大きな影響はありませんでした。

さて二本松市では、10月4日から6日まで提灯まつりが行われ、黄金塗りの太鼓台が市内を練り歩き、夜には赤提灯が点けられ秋の夜を豪華に彩りました。また、10月1日から11月25日まで二本松菊人形が行われています。あだたら清流センターに於いては毎年開催してきました「水・環境フェスティバル」が今年は増設工事のため場内で実施できないことから、10月26日、27日に実施される二本松産業フェスティバルに協賛することとなりました。会場は城山総合体育館ですので、皆様のご来場をお待ちしております。

下水道は汚れた水をきれいにして、川や海に流すもので快適な生活環境づくりに欠かすことのできない重要な役割を担っています。今後とも下水道の普及啓もうについてはご理解とご協力をお願い致します。

なお、見学希望の方は、あだたら清流センター（☎0243-22-7760）までご連絡下さい。



『市町村支援（設計受託）』について

下水道施設はナショナル・ミニマムとして認識され、都市部ばかりでなく地方に於いても生活に欠かせない施設となっています。しかし、執行体制の脆弱な自治体で下水道事業を進めようとする、専門技術職員の配置などの問題が伴います。このため、公社では、県内市町村の下水道事業を技術的な側面からサポートするため、計画段階から実施設計、工事管理に至る一連の総合的な技術支援事業（受託業務）を行っています。

公社は、県と市町村の出捐によって設立された団体ですから、守秘性があり発注者の立場で工事設計書の作成を行います。また、担当職員は技術士、一級建築士、下水道法22条有資格者（下水道技術検定第一種・二種合格者）等の資格保有者ですので、技術力を生かした技術支援が可能です。委託契約では経費の低減が図れ、随意契約とすることが出来ます。

市町村技術支援事業は、平成8年度より計画第1課・計画第2課の2課体制（地域担当制）でスタートし、以来多くの市町村にご利用頂いておりますが、本年度より二つの課の業務を計画設計課に統合し、一層の効率化を図ることとなりました。

【編集後記】

本誌の発行も、10月号で第3回目となりました。皆様に愛される季刊誌を目指し、編集作業を行っております。ご意見、ご希望等がございましたら、右記までご連絡ください。



管渠推進工事現場(低対荷力方式)

また、前号でも紹介しましたが、「下水道相談室」を開設しています。計画や設計、工事、維持管理段階などでお困り事がございましたら、お気軽にご利用を頂きたいと思っております。

平成13年度末の福島県の下水道普及率（処理人口普及率）は、34.8%と全国平均の63.5%に比べ大きく立ち遅れており施設整備が急がれていますが、財政事情も厳しさを増す一方であり、今後の市町村下水道の推進には相当の困難が予想されます。私たちは技術支援機関として、市町村の多様なニーズに素早く対応するために、職員一丸となって技術力向上に努め、支援事業の充実を図りたいと考えておりますので、関係機関の一層のご支援ご指導をお願いいたします。

財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町2番1号

福島県庁舟場町分館3F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage:<http://www.fspc.or.jp>

E-mail:info@fspc.or.jp

本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。